

平成28年6月1日
熊本県立松橋支援学校図書館発行

皐月晴れの先月21日、本校で50周年記念運動会が開催されました。本校体育館と運動場での運動会は久々の事でした。開催自体も危ぶまれましたが、当たり前前の日常を取り戻すためにも開催が決定されました。生徒会長の力強い挨拶にもありましたように、ここ松橋から一歩一歩前にすすみましょう。まさに“頑張ろう！熊本”です。

さて、6月は体験学習や実習等始まります。また梅雨入り間近でもあります。蒸し暑いとうつろいひびつづおもいますが、日々の生活習慣を規則正しく行い健康的な毎日をごくたす下さい。

【図書館の環境整備】

図書館入り口の壁面を使って環境整備をしています。5月の環境整備は鯉のぼりをつくりました。熊本地震の影響で空をみあげることを忘れていませんか？休校開けて学校に戻った児童生徒のみなさんに青空高く泳ぐ鯉のぼりをみてもらい、当たり前前の日常のありがたさに気づいて欲しいと願っています。さて来月はどう変わるかな？楽しみにして置いて下さいね。



最近読んだ本・・・みなさん本読んでますか？

【朝が来る】辻村 深月著 / 文藝春秋

親子3人で平和に暮らす栗原家に突然一本の電話。

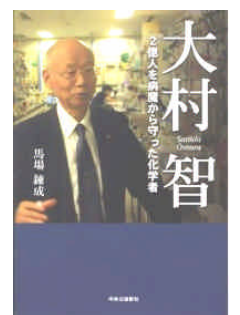
電話口の女の声は、「子どもを、返してほしい」と告げた - 。最後まで読んだ時に表題の意味が解けたような・・・？

【大村 智 2億人を病魔から守った科学者】馬場 錬成著 / 中央公論新書

山梨県に生まれ夜間高校の教師から研究者に転じて先端の研究業績を蓄積し、ノーベル賞候補と言われるまでに飛躍していった科学者、大村智の実録評伝です。

【64 ロクヨン】横山 秀夫著 / 文藝春秋

1964年、昭和から平成への移行の忘れられない年事件は起こります。それも誘拐事件。それからずっと、未解決のままの事件でもあります。警察職員二十六万人、それぞれに持ち場があり、刑事など一握り。一人ひとりが日々矜持をもって職務を果たさねば、こんなにも巨大な組織が回っていくはずがないのです。D県警は最大の危機に瀕する。警察小説の真髓が、人生の本質が、ここにある。



リレーエッセイNO50

「心を磨く本」

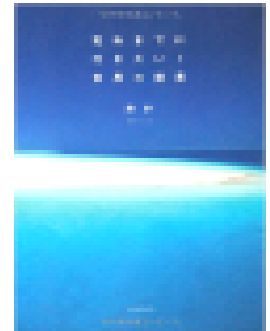
2つ年上の姉に「これだけは絶対面白いから読んでみて！」と言われて読み始めたのがきっかけで、小学生の頃は「りぼん」という漫画雑誌をはまって読んでいました。毎月楽しみにしていて、次はどうなるんだろう？と続きを早く読みたくて、発売日には急いで帰って買いに行ったのをよく覚えています。

中学生くらいになると、少しずつ小説を読むようになりました。ただ飽きっぽい性格なので、なかなか一冊の本を読み切ることができませんでした。しかし、高校時代に山本文緒さんの短編小説をちょこちょこ読むようになり、小説の面白さに出会いました。表現の仕方が私には合っていて、スーッと言葉が心に入ってきて「合う」という感覚がありました。人と同じで、本にも「合う」「合わない」という感覚があるんだということを知りました。

たくさんの作家さんがいて、たくさんの表現方法があります。みなさんも自分が「合う」と思う本に出会えると良いですね。

ここでは、最近一番「合う」と感じた本を二冊紹介したいと思います。

一冊目は「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」という本です。この本の魅力はなんと言っても風景写真の美しさです。見たことのない世界がそこにはあります。遠い海外や日本国内にもこんなにも美しい場所があるのだと、見るだけで心が磨かれる気がします。この本を見ると、旅行に行きたいという気持ちがかき立てられます。いつか行きたいなあ～と思いながら、本を眺めるだけでも行った気分になり、心がスッキリするので、ぜひ眺めてみてください。



二冊目は「今をとことん楽しむための100の法則」という本です。この本は、私が働き始めた頃に、何気なく手に取った本です。慣れない仕事で思い通りにいかないことも多く、この仕事は自分に合っていないんじゃないか、もっと合う仕事があるんじゃないかと迷っていた時期でした。一つ一つの言葉がとても心に響き、上手いかわらないことを誰かのせいにしていないか？甘えていないか？と自分自身に問いかけられます。なかなか受け入れられない言葉も、文字だと自然と受け入れることができました。また、自分の良さや反対に改善すべきところが見えてきました。その中でも、心に残った言葉を紹介します。



「わたしのために何もしてくれない」というのが、不幸の原因。

「わたしはこの人のために何ができるだろうか」

と考えるのが、幸福の特徴。

どの言葉がみなさんの心に響くかは人それぞれ違うと思いますが、みなさんの心にも響く言葉、心が磨かれる本が見つかるんじゃないかと思いますので、ぜひいろんな本を読んでみてください！